

【 診療科:消化器外科 】

【 レジメン登録番号:SG-133 】

### < Pertuzumab + Trastuzumab 療法(結腸・直腸癌) >

	投与量	投与経路	投与スケジュール(day)	
			1	21
パージェタ	初回 840mg 以降 420mg	div	○	
ハーセプチン	初回 8mg/kg 以降 6mg/kg	div	○	

【1コース期間: 21日】

【総コース数:制限なし】

【適応癌種: HER2陽性結腸・直腸癌】

【時期: 術前、術後 **手術不能・進行・再発**】

【休薬・減量に関する要件】

項目	基準	減量内容	休薬時の再開基準

#### 投与プロトコール

<day1>

Rp	薬剤名	投与経路(速度)
Rp.1	パージェタ 初回 840mg 以降 420mg	div(初回60分で (以降30分で)
	生理食塩水 250mL	
Rp.2	生理食塩水 100mL	div(初回60分で (以降30分で)
Rp.3	ハーセプチン 初回 8mg/kg 以降 6mg/kg	div(初回90分で (以降30分で)
	注射用水 <sup>※</sup>	
	生理食塩水 250mL	
Rp.4	生理食塩水 50mL	div(全開で)

【参考文献:パージェタ添付文書2022年3月改訂・ハーセプチン添付文書2022年12月改訂・Nat Med.2021 Nov;27(11):1899-1903】

【備考①: 前回投与日から6週以上経過した場合、再ローディングが必要。

【備考②: パージェタ・ハーセプチンの減量不可。

【備考③: ※注射用水適宜調整可。

【変法情報: